

# 令和2年度 果樹情報（第1号）

令和2年4月15日  
 福島県会津農林事務所 農業振興普及部  
 J A 会津よつばあいつ西部営農経済センター

**開花期から幼果期は、耐凍性が最も弱くなります。  
 防霜対策や結実確保対策を徹底しましょう。**

## 1 気象概況

3月から4月上旬にかけて、気温は概ね平年よりも高く推移しました。東北地方の1ヶ月予報（仙台管区气象台4/9発表、4/11～5/10）によれば、向こう1か月の平均気温と降水量は、平年並か低くなる見込みです。

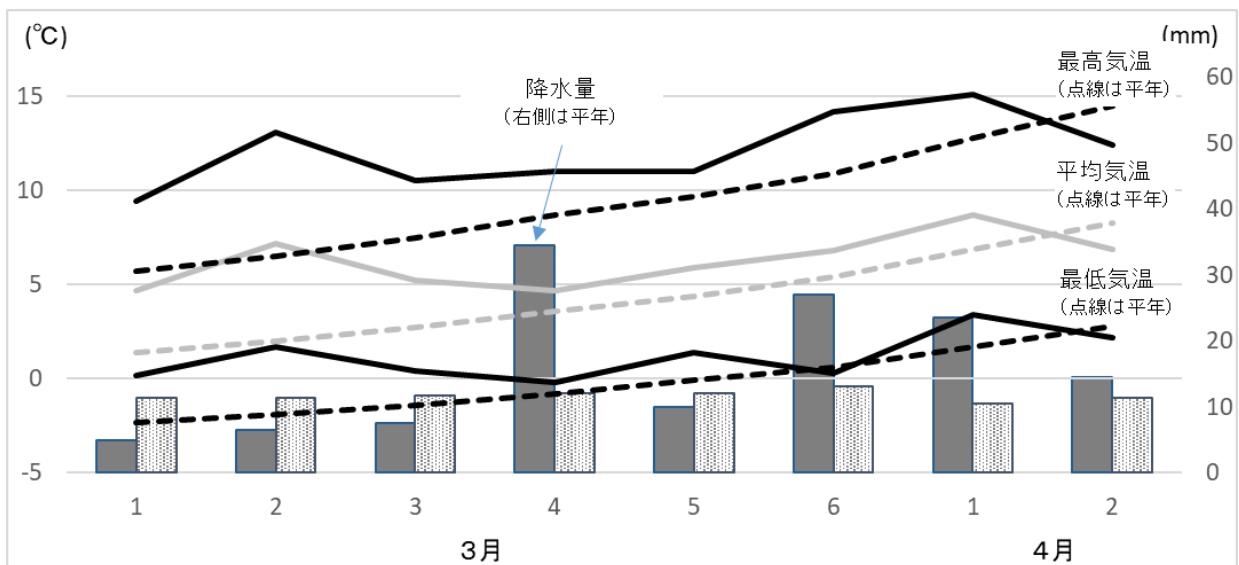


図1 3月から4月上旬にかけての気象概況（会津若松、半旬ごとの平均）

## 2 果樹の生育概況

気温が高く推移したため、各樹種で発芽が1週間前後から10日程度早まり（表1）、神指町のモモ「あかつき」は既に開花期に入っています。防霜対策を徹底するとともに、栽培管理は遅れないよう実施しましょう。

表1 各樹種の発育状況（平年は1986～2019年の平均値）

樹種 品種	リンゴ				モモ	カキ	
	ふじ		つがる		あかつき	会津身不知	
調査地点	北会津町	磐梯町	北会津町	磐梯町	神指町	門田町	
発芽日	本年	3/27	3/27	3/24	3/25	3/19	4/4
	平年	4/3	4/4	4/1	4/3	3/29	4/10
開花日	本年	—	—	—	—	4/12	—
	平年	5/1	5/3	4/29	5/2	4/21	6/4
満開日	本年	—	—	—	—	—	—
	平年	5/6	5/7	5/4	5/6	4/27	6/8

### 3 今後の栽培管理

#### (1) 樹種共通

##### ア 防霜対策

開花期から幼果期にかけては、耐凍性が最も弱くなります。気象情報に十分注意し、降霜が発生しやすい気象条件が見られる場合は防霜対策を徹底しましょう（詳細は令和元年度果樹情報（第8号）を参照）。

表2 生育ステージ別の凍霜害を受ける温度（単位：℃）

樹種	品種	発芽期	開花直前	満開期
リンゴ	「ふじ」	-2.1	—	-1.5
モモ	「あかつき」	—	-2.5	-2.5
オウトウ	「佐藤錦」	-3.0	-1.7	-1.7

##### イ 結実確保対策

開花時期は、訪花昆虫の導入、人工受粉のための花粉採取・労力確保等を計画的に実施しましょう。また、降霜被害が見られる場合はとくに人工授粉を徹底し、結実の確保を図りましょう。

#### (2) リンゴ

摘果作業を省力化するため摘花剤を使用する場合は、適切な時期に使用しましょう（表3）。この際、摘花剤はめしべにかからないと効果は無いため、なるべく手散布で行いましょう。なお、中心花の開花期に強風や降雨、低温が続く場合は、過剰摘花となることもあるため、表3の2回目の散布のみとします。自分の園地の開花・結実状況を見ながら使用を判断してください。

表3 リンゴ摘花剤の使用方法

摘花剤名	希釈倍率 (10a 使用量)	散布時期		備考
		1回目	2回目	
石灰硫黄合剤	100~120倍	満開後*	前回散布の3~4日後	・ 開花が長引く場合は、第1回散布を満開2~3日後にするか、1~2回散布を追加する。 ・ 樹勢の弱い園では散布しない。 ・ 訪花昆虫の放飼園では使用しない。
エコルーキー	100~150倍 (300~600L)	満開日	前回散布の2~3日後	・ 300~600L/10a

\*満開とは、頂芽花の中心花及び側花の7~8割が開花した日を指します。

#### (3) カキ

カキクダアザミウマの寄生葉は摘み取って、適切に処分しましょう。

また、落葉病（円星落葉病）の子のう胞子飛散は6月上旬から始まり、6月下旬~7月上旬にかけて最も多くなります。また、感染後2~4か月の潜伏期間を経て発病します。前年発生の多かった園では、以下の方法で落葉をできるだけ処理しましょう。

① 風で園地の隅などに吹き寄せられた落葉を集めて処理する。

（処理方法としては、土中に埋めるか、土をかけるだけでも効果があります。）

② 園内を軽くロータリー耕うん（深さ5cm程度）して落葉を土中にすき込む。

なお、処理後は、防除暦に従い5月以降の薬剤防除をしっかりと実施してください。

#### (4) モモ

モモせん孔細菌病に注意！

モモせん孔細菌病は葉や果実、枝に発生するモモの難防除病害の一つで、果実被害や早期落葉が問題となります。昨年は会津地方を含む県内各地で発生しました。

昨年、モモせん孔細菌病が多発した園地やその周辺では、今年も多発する恐れがあります。とくに、春季に気をつけたいのが春型枝病斑（図2）で、ここから病原細菌が雨滴に混じって伝染することが知られています。春型枝病斑は、開花期から落花10日後頃にかけて、結果枝に発生します。春型枝病斑の発生を見つけたら徹底的にせん除しましょう！



図2 モモせん孔細菌病

## 農作業事故に気をつけましょう！！

農繁期の4～5月は農作業事故が発生しやすい時期です。下記の点に注意し、農作業事故を未然に防ぎましょう！！

- 作業に適した服装をする。
- 点検は安全作業の第一歩。機械の日常点検、定期点検を必ず行う。
- 安全フレームのあるトラクターを使用し、シートベルトを着用する。
- 走行時は路面状態や障害物、段差に注意する。
- 作業が終わったら、左右ブレーキを連結する。
- こまめに休憩をとり、体調が悪いときには無理をしない。



農薬を使用する際は、必ず最新の登録情報（使用時期、使用回数など）を確認し、適正使用を心掛けましょう。

農業災害が多発しています。農業保険（農業共済・収入保険）に加入しましょう！